

英語にチャレンジ ～高校生英語スピーチコンテスト丹有大会～

10月2日(日)、兵庫県高校生英語スピーチコンテスト丹有地区大会、英語暗唱大会が開催され、丹有地区の高等学校からスピーチコンテストに12名、英語暗唱大会に9名の生徒が参加しました。

氷上西高校からも2年生の太田有紀さんがスピーチに、1年生の垣本沙希さんが暗誦に出場しました。多くの人を前にして英語でスピーチや暗誦を発表するのは、本当に大変なことです。二人の生徒は、出場を決断した日から大会当日まで、英語の先生方やALTのサム先生とともに連日練習を繰り返していました。

大会本番では、緊張しながらも堂々とすばらしい発表をしてくれました。二人のチャレンジ精神と努力を讃えたいと思います。練習を重ねるにつれ、二人の英語力が格段に伸びていくことが手に取るようになりました。

むずかしいことに果敢にチャレンジし、緊張ながらも頑張るという経験をとおして、多くの事を学び、自信をつけていくことは、今後の人生のいろいろな場面で必ず役に立つことと思います。

ちなみに、平成27年度の大会には本校からの出場生徒はいませんでした。それを考えると、今回の二人は氷上西高校の代表として本当によくがんばりました。来年度以降も二人に続いてほしいと思います。



(当日開会式で高校英語部会丹有支部長として行った挨拶から抜粋)

本大会の発表時間はスピーチが5分、暗誦が3分ですが、その5分、3分のために、出場する生徒のみなさんは、何カ月も準備をし、たくさんの時間をかけて英文を読み込んで練習を重ねてきたことと思います。

スピーチ、暗誦は、英語が使えるようになるための学習方法としてとても効果的だと言われています。出場する生徒のみなさんは、スピーチや暗誦を練習するなかで多くのことを学んだのではないのでしょうか。今日は、自信をもって練習の成果を発揮してください。

スピーチコンテスト、暗誦大会への挑戦が、みなさんの英語の力を大きく伸ばす契機となることと確信しています。

It is great pleasure to have this annual Speech Contest and Recitation Contest today. We would like to praise the great efforts of participating students. And we wish all the students do his or her best in the contest. I hope this contest will be an opportunity for students to acquire a good command of English and public speaking.

(校長 高橋信之)